

新型「ハイゼット」「アトレー」

商品概要

ダイハツ工業株式会社

製品企画部 エグゼクティブチーフエンジニア

松本 隆之

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼット トラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





- ハイゼット：「たくさん積めて、壊れない、お求めやすく、頼れる“働く相棒”」として進化
- アトレー：「4人乗っても荷物がたくさん積める 軽RVの先駆け」として誕生

ハイゼット カーゴ

1960年～



ハイゼットトラック

1960年～



アトレー※

1981年～

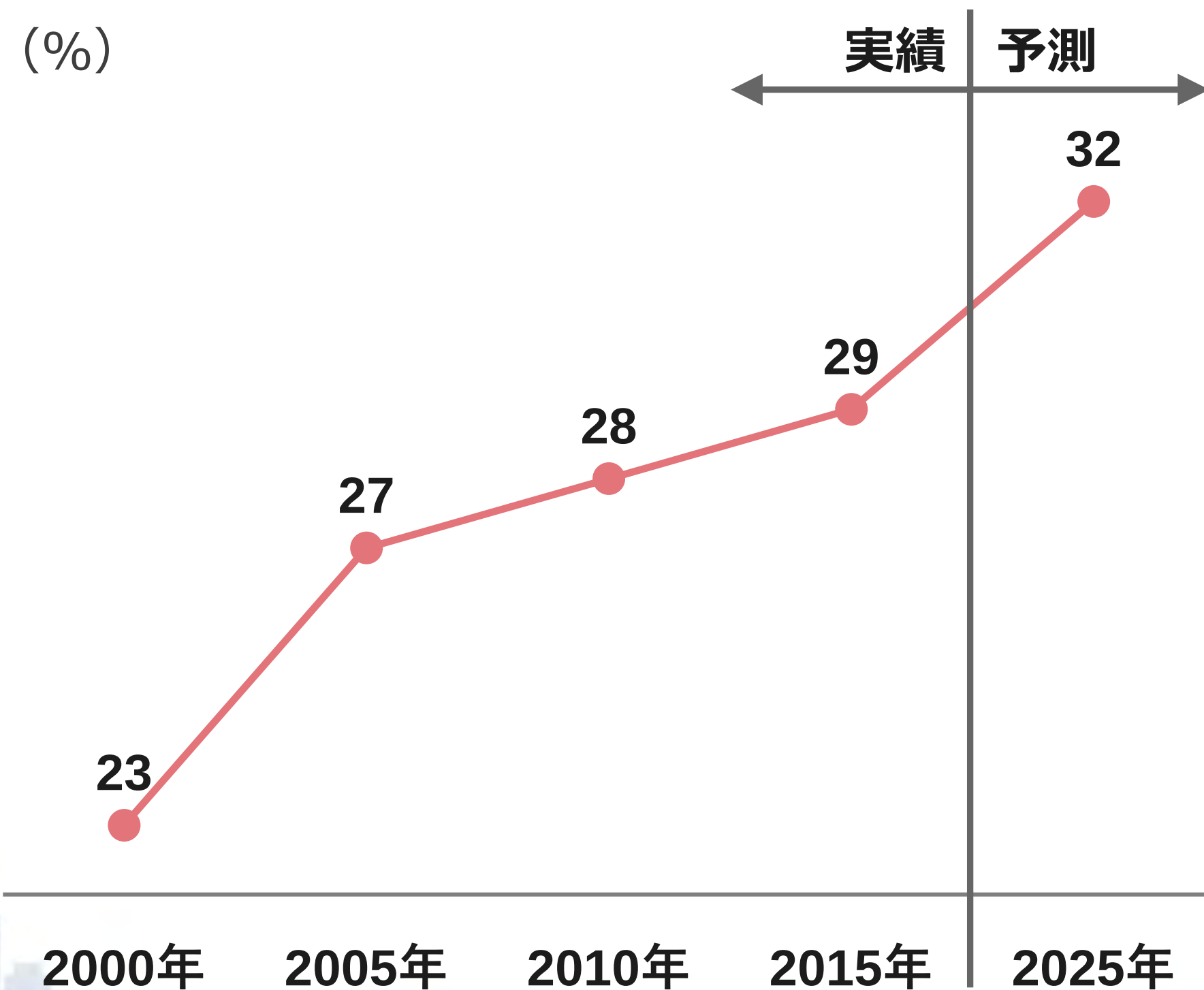


※1981年に「ハイゼットアトレー」として発売。1999年に「アトレーワゴン」を発売

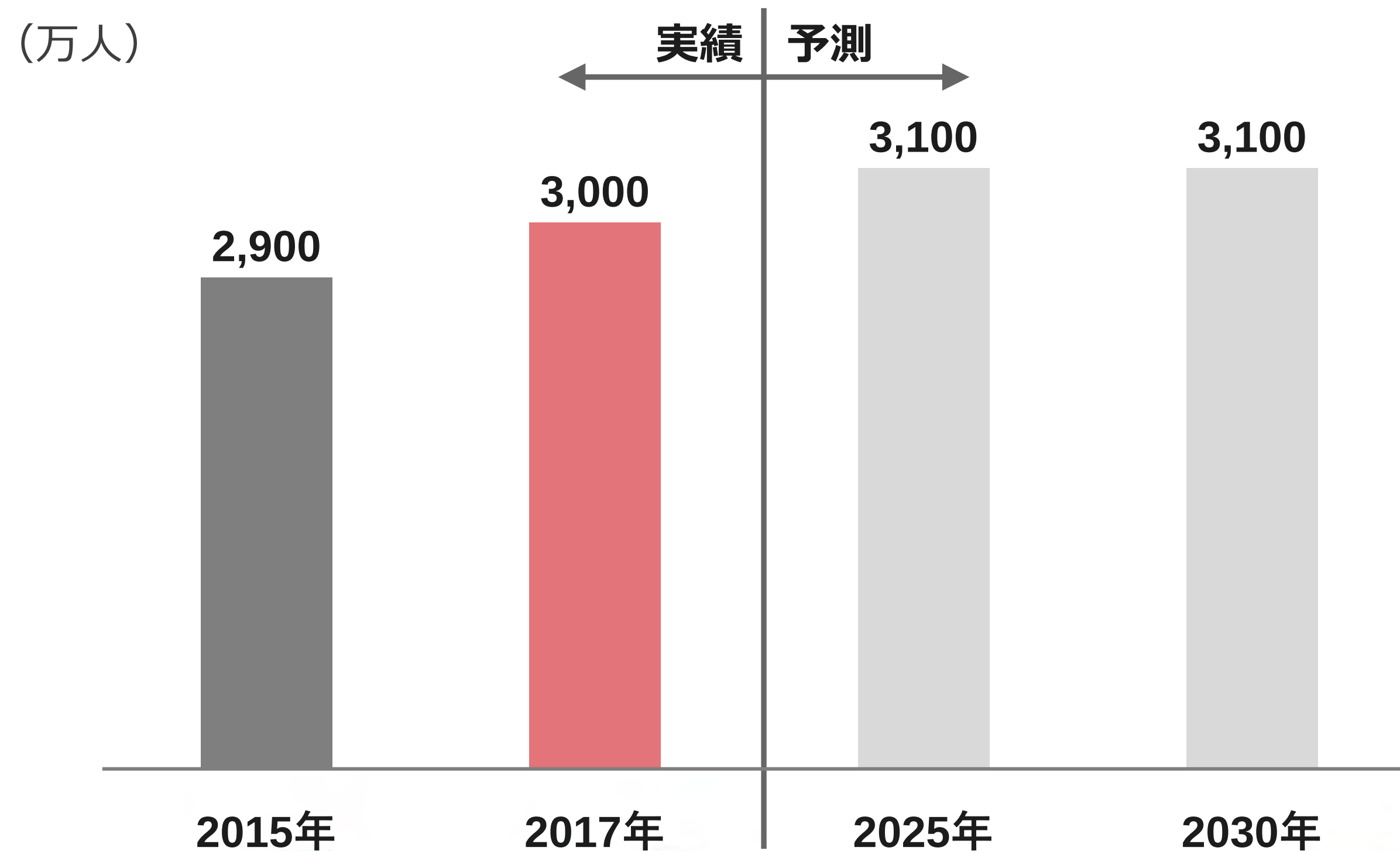


■女性やシニア、外国の方々など働き手が多様化

就業者高齢者比率



女性労働者人口推移



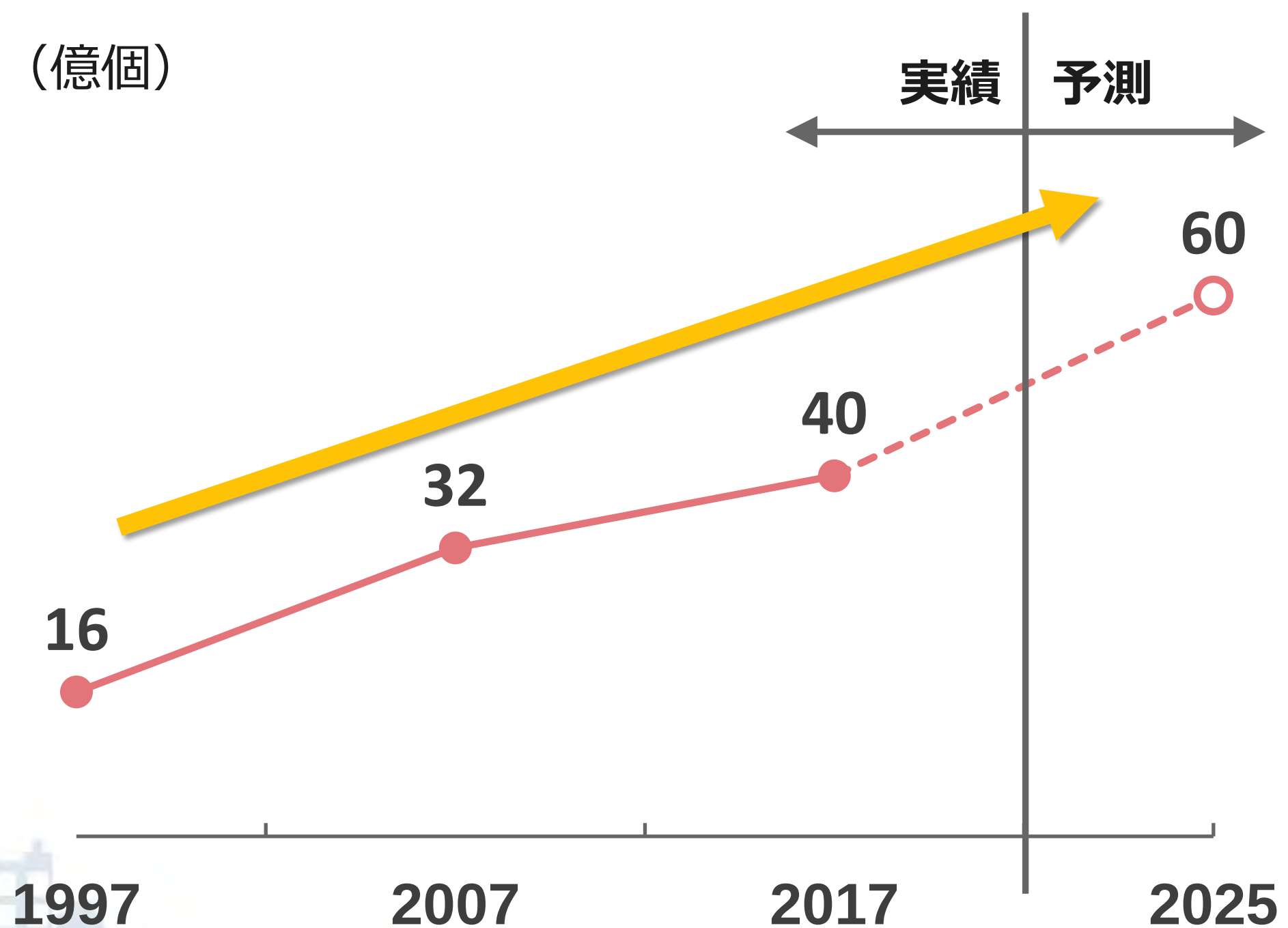
出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング
「労働力人口・労働投入量の予測」



■ 新型コロナの影響もあり、Eコマース需要が増加傾向

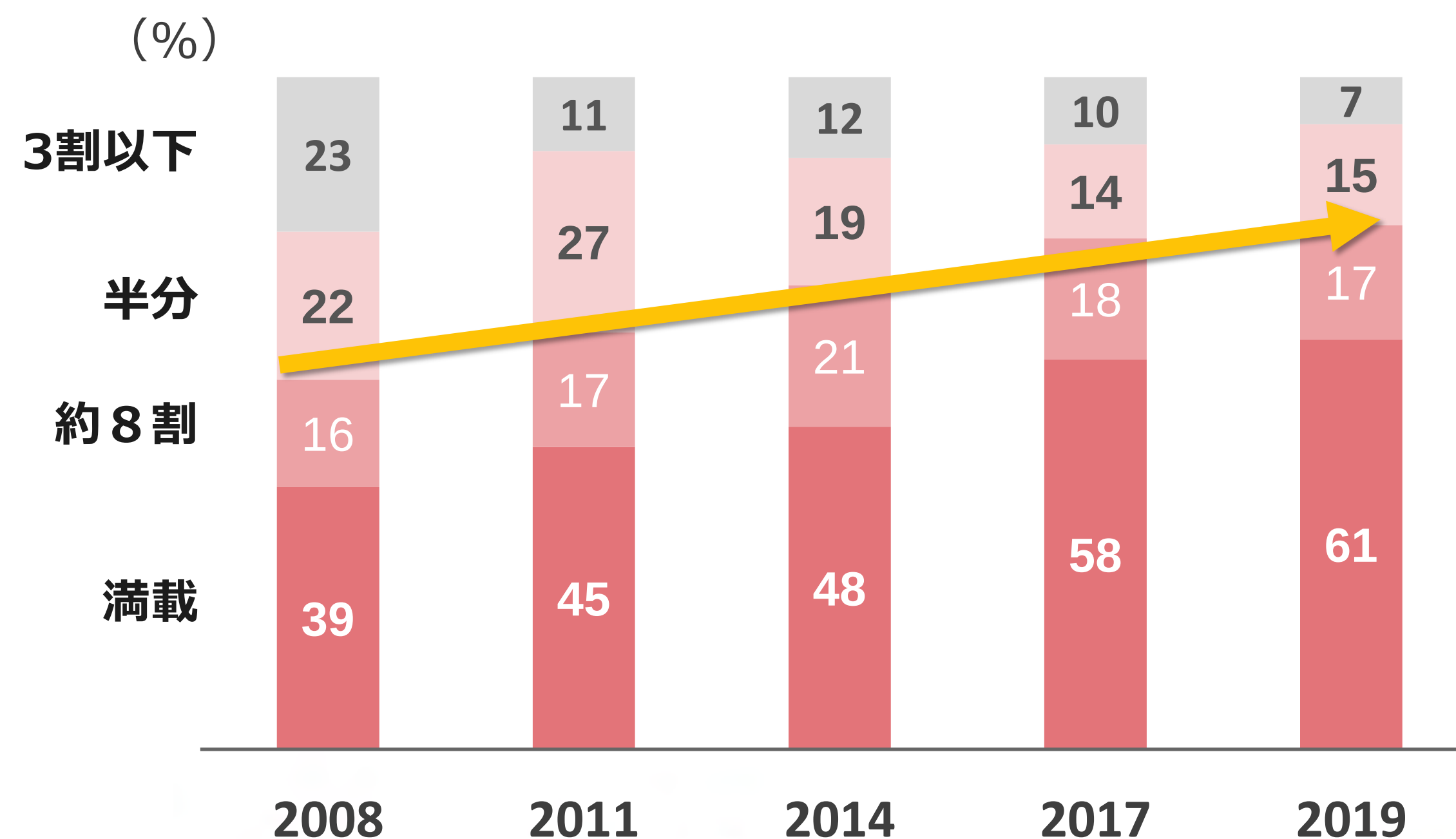
■ 小口配送や1台当たりの積載量も増加

小口配送数量推移



出典：国土交通省

1台当たりの積載量推移（配送業）

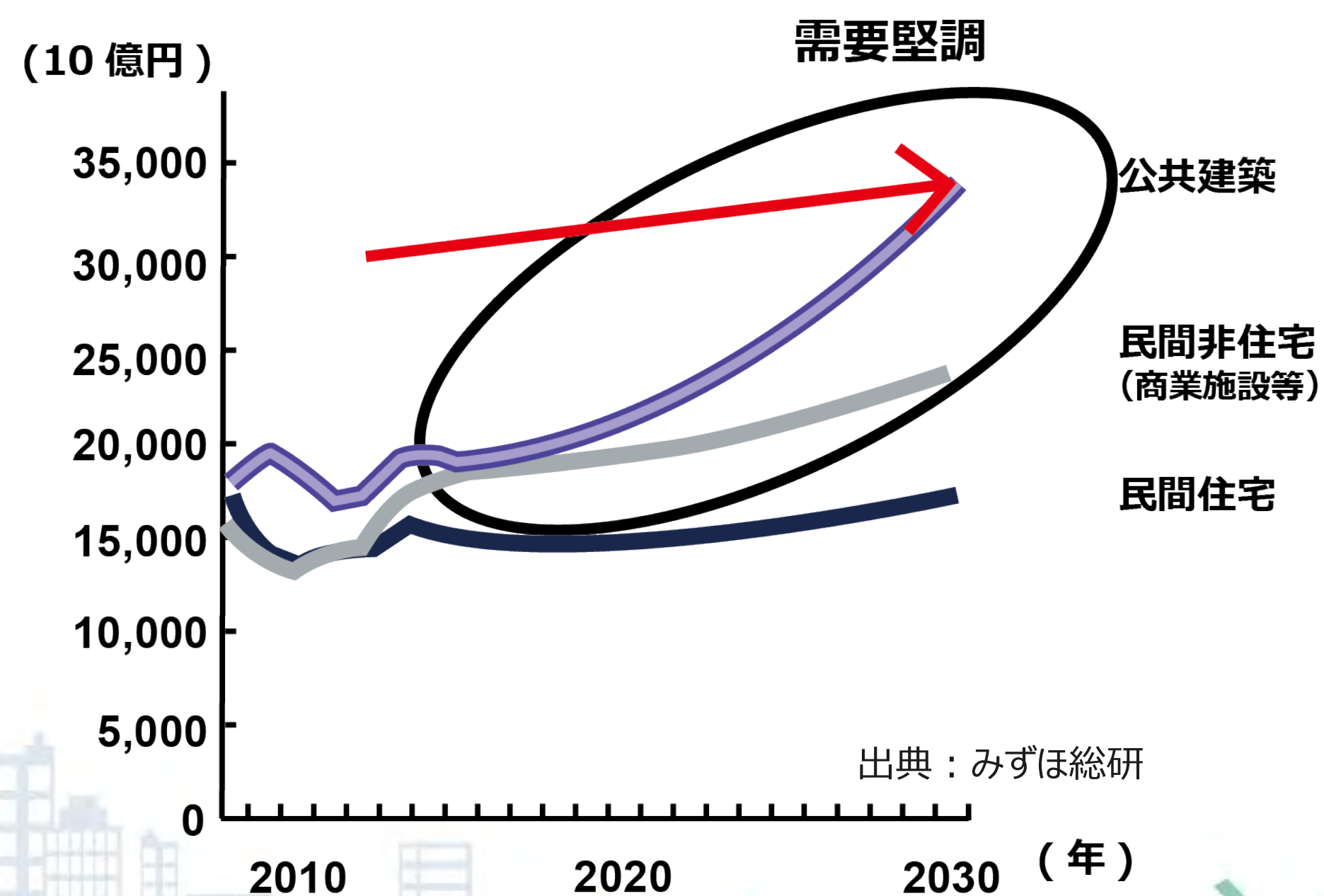


※ダイハツ調べ

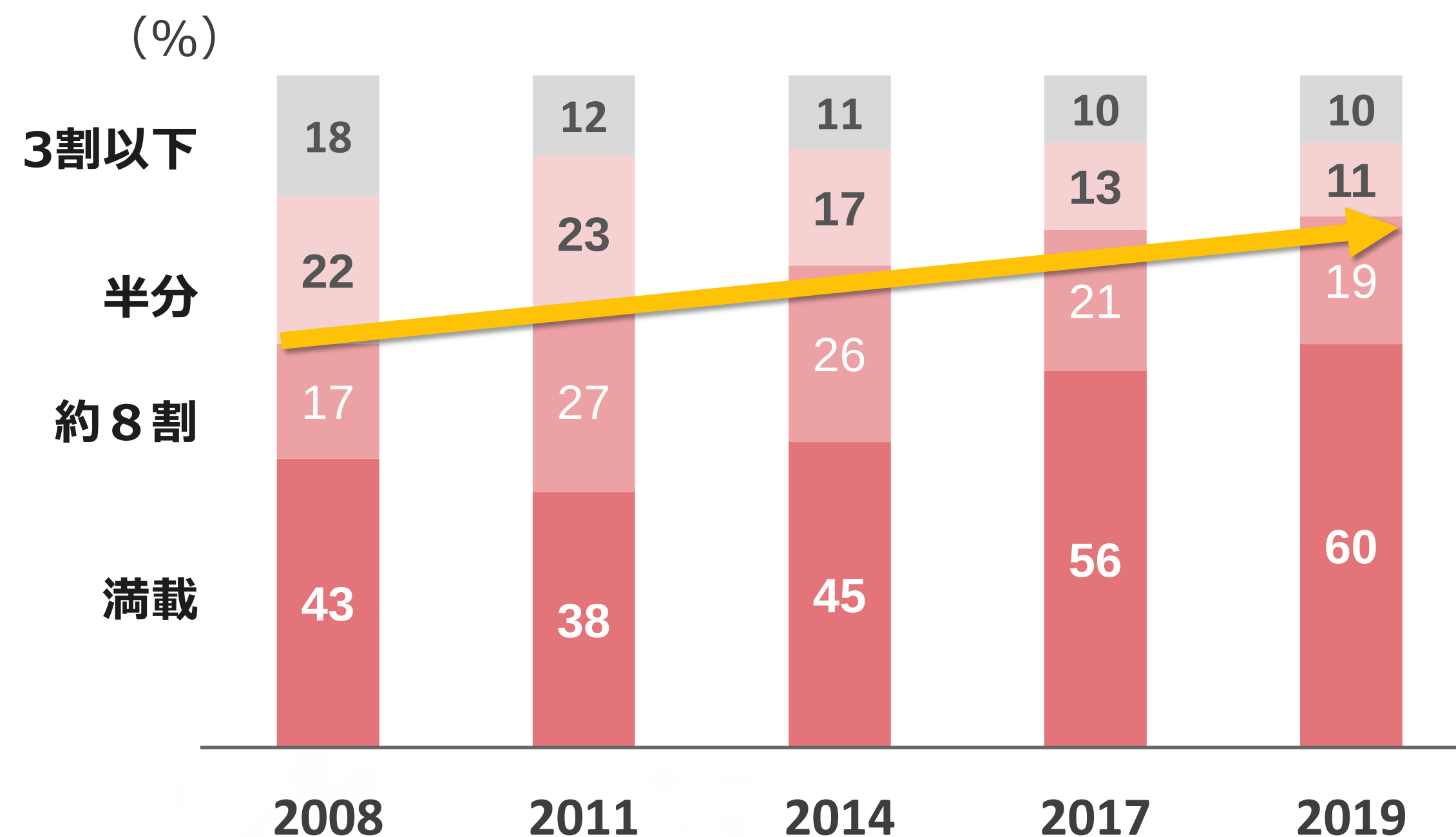


■ 建設需要増や人手不足により、 一人当たりに求められる役割が増え、使用する工具や資材も増加

建設需要の変化



1台当たりの積載量推移（建設業）



※ダイハツ調べ

現地現物で様々なお客様の使い方やご要望を聞き込み





3 車種同時進化

Light you up

働き手の多様化や使われ方の変化に対応すべく大幅商品強化



新型「ハイゼット カーゴ」

効率 極めた
活力カーゴ



新「ハイゼット トラック」

たさいトラック
(多載、多才、多彩)



新型「アトレー」

使い尽くせる
マルチBOX

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

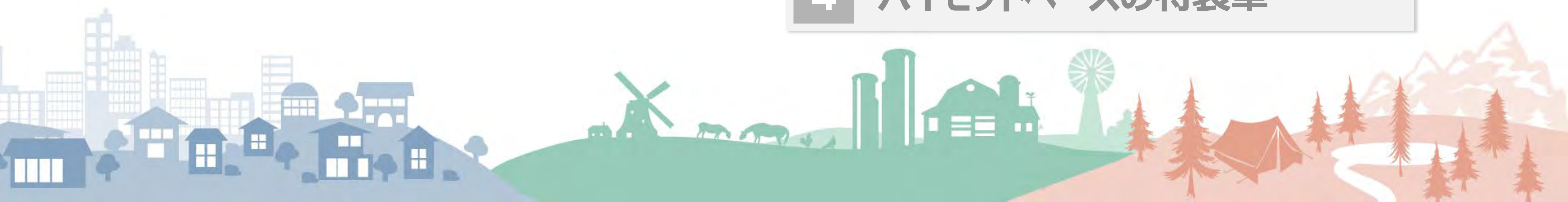
II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





DNGAの考え方

良品廉価

最小単位を
極める

先進技術を
みんなのものに

商用DNGAの考え方

- 商用車は毎日の仕事や生活で使う「相棒」的存在



全ての働く方々にとって、
「安全・安心・心地よく」働くことができる



見て

分かりやすく
機能的なデザイン

触って

操作しやすく
自然に使える機能

乗って

疲れにくく
運転しやすい走り

「基本性能（燃費・走り）」「安全性能」「使い勝手の良さ」に徹底的にこだわって進化

HIJET
C A R G O



ATRAI



HIJET
T R U C K



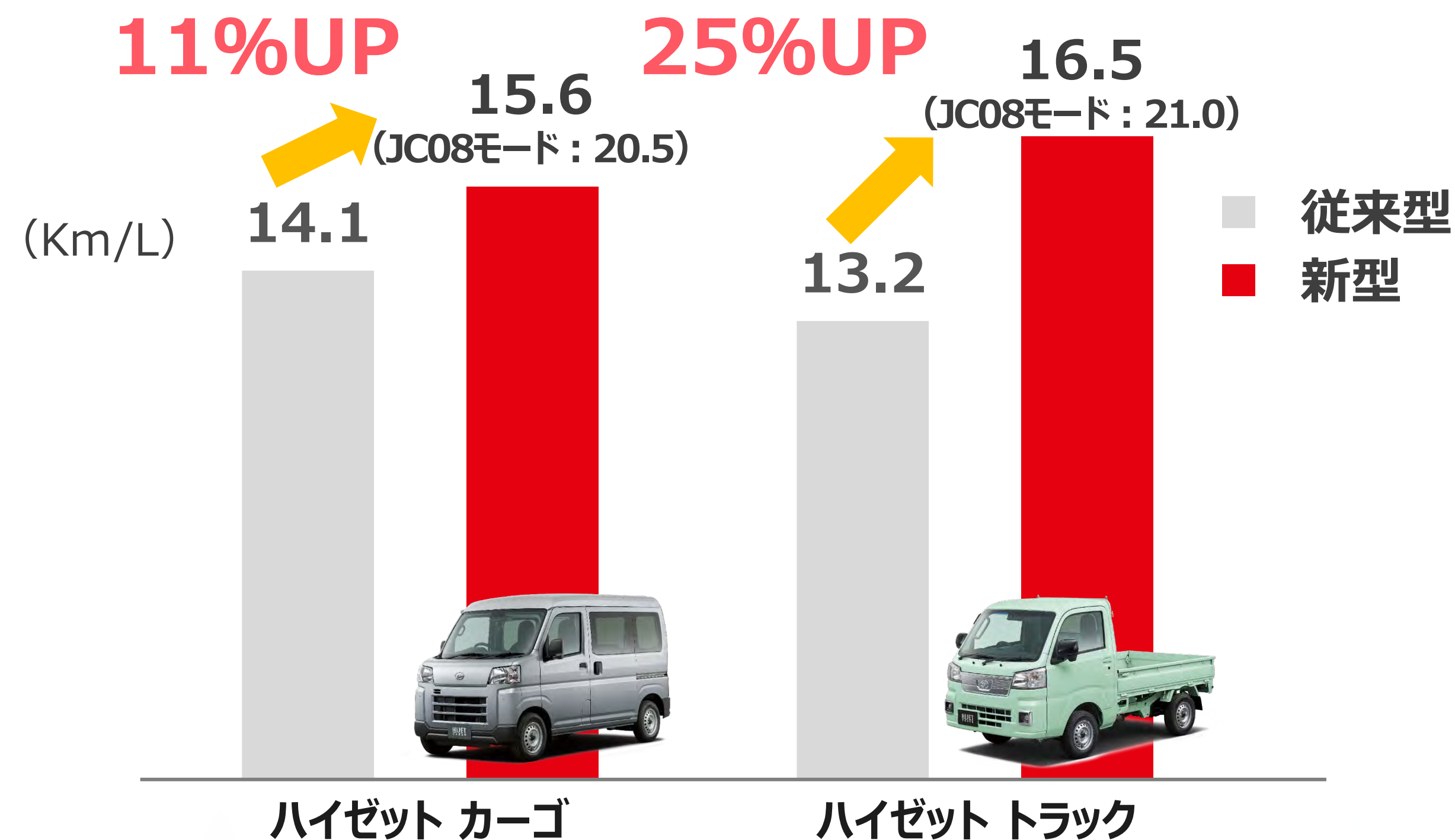
17年ぶりにプラットフォームを一新

パワートレインを刷新



誰でも運転しやすい新開発FR用CVTを採用 クラストップレベル※¹の燃費性能を実現

新開発のFR用CVT



軽キャブオーバー（FR車）初※²

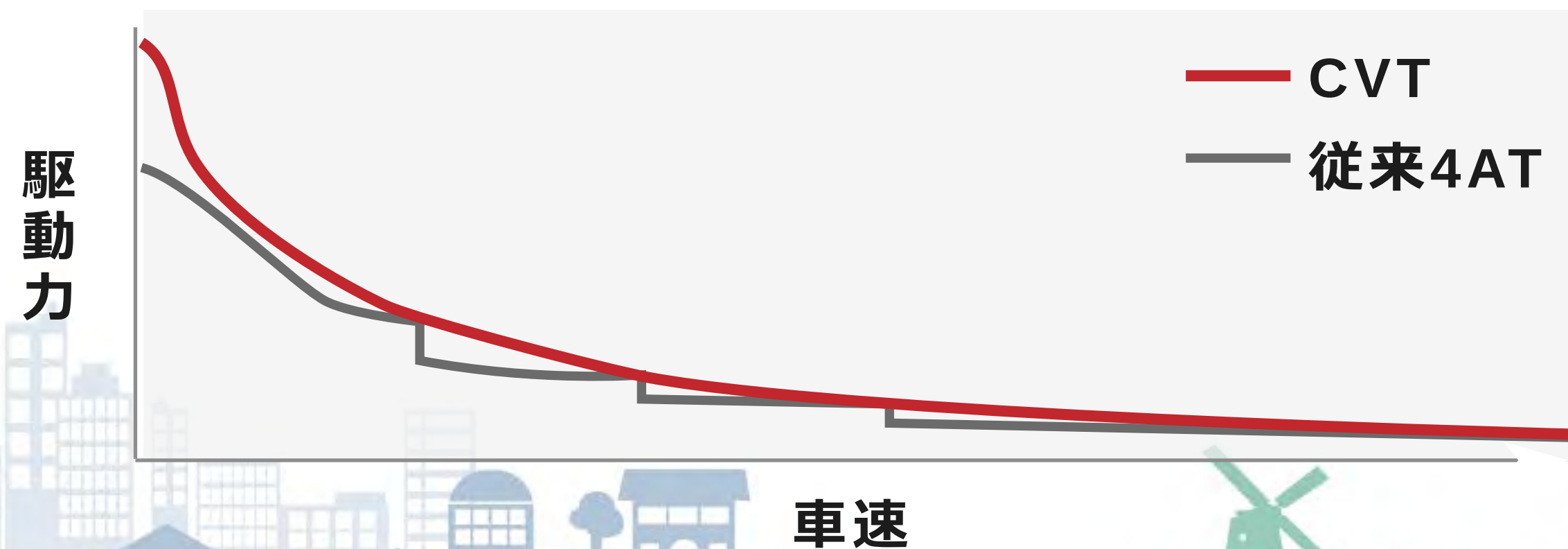
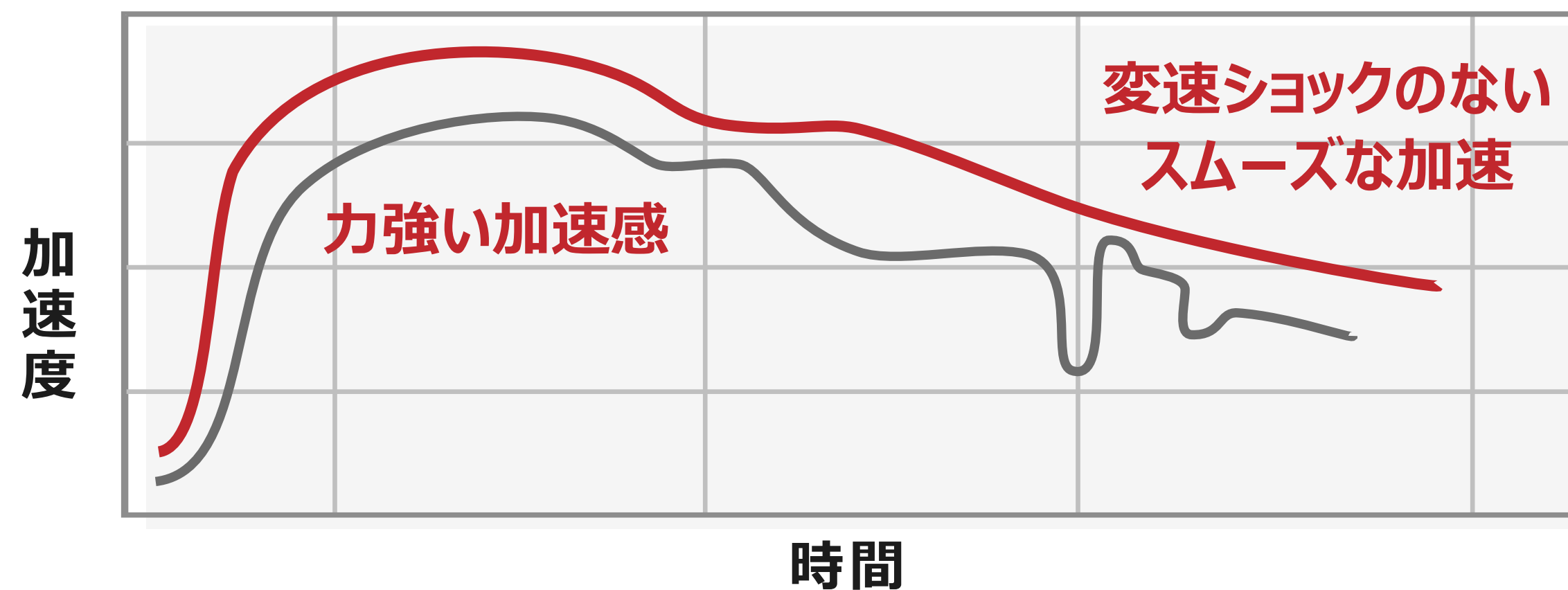
いち早く商用CAFE規制へ対応

※¹:2021年12月現在、ダイハツ調べ。燃費はWLTCモード（2WD/CVT・AT/NA）。国土交通省審査値。他社にも同数値の車があります
 ※²:2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用のクルマがあります



スムーズな発進や高い静粛性を実現し、運転中のストレスを低減

発進加速イメージ



上り坂でもスイスイ進める

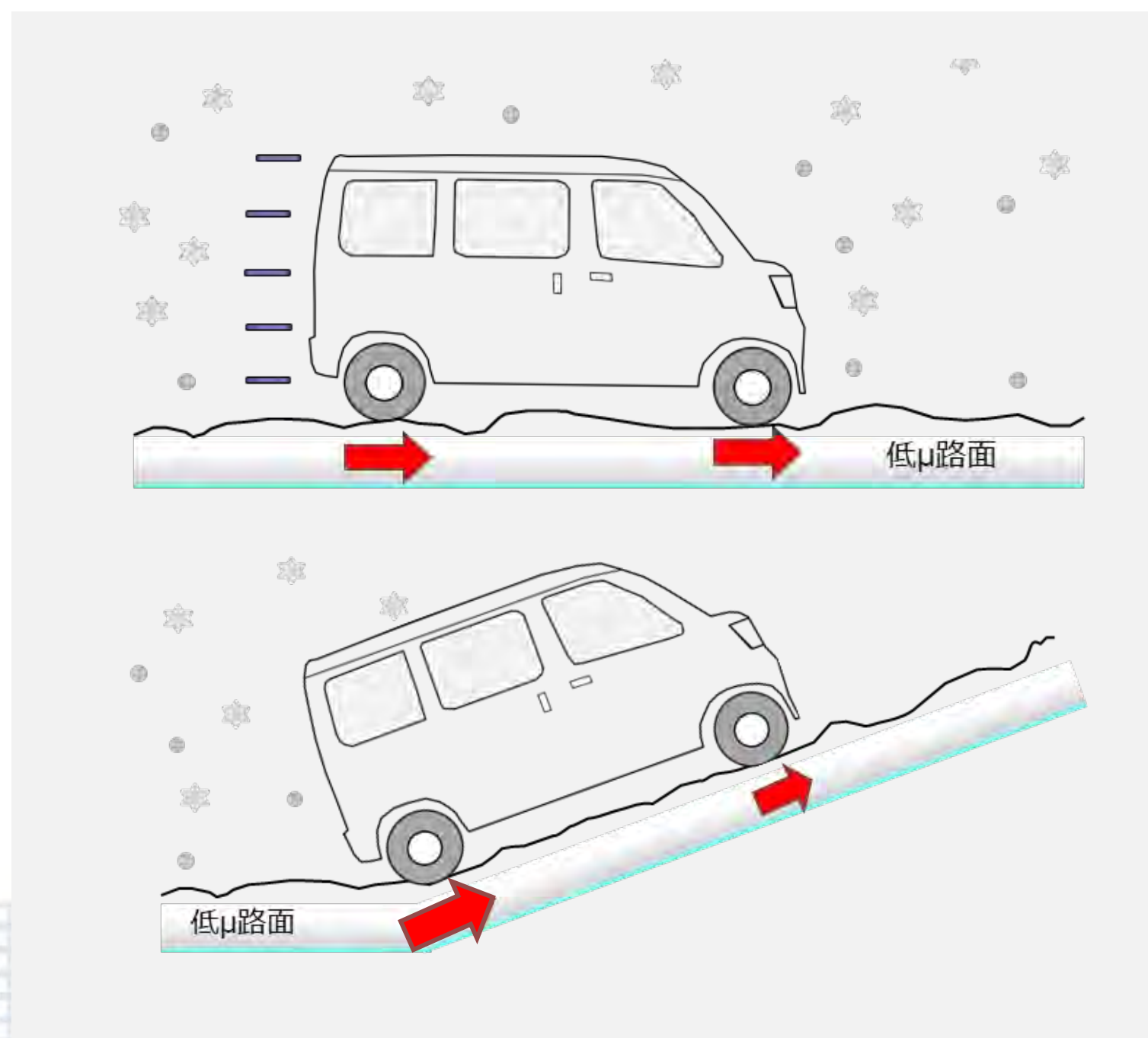


悪路や雪道でも安心な電子制御式4WDをCVT車に採用 ハイゼットトラックCVT車にはスーパーデフロックを採用

電子制御式4WD

クラス初※1

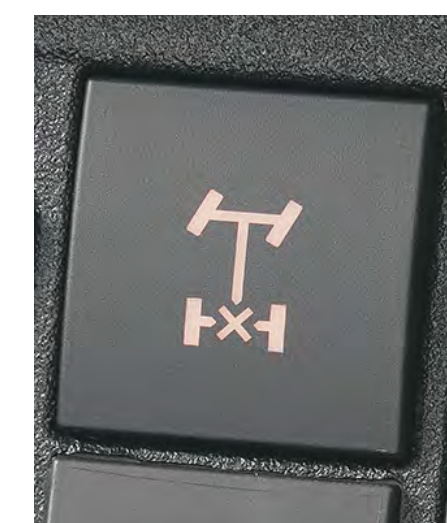
路面状況に応じて前後輪に最適なトルク配分



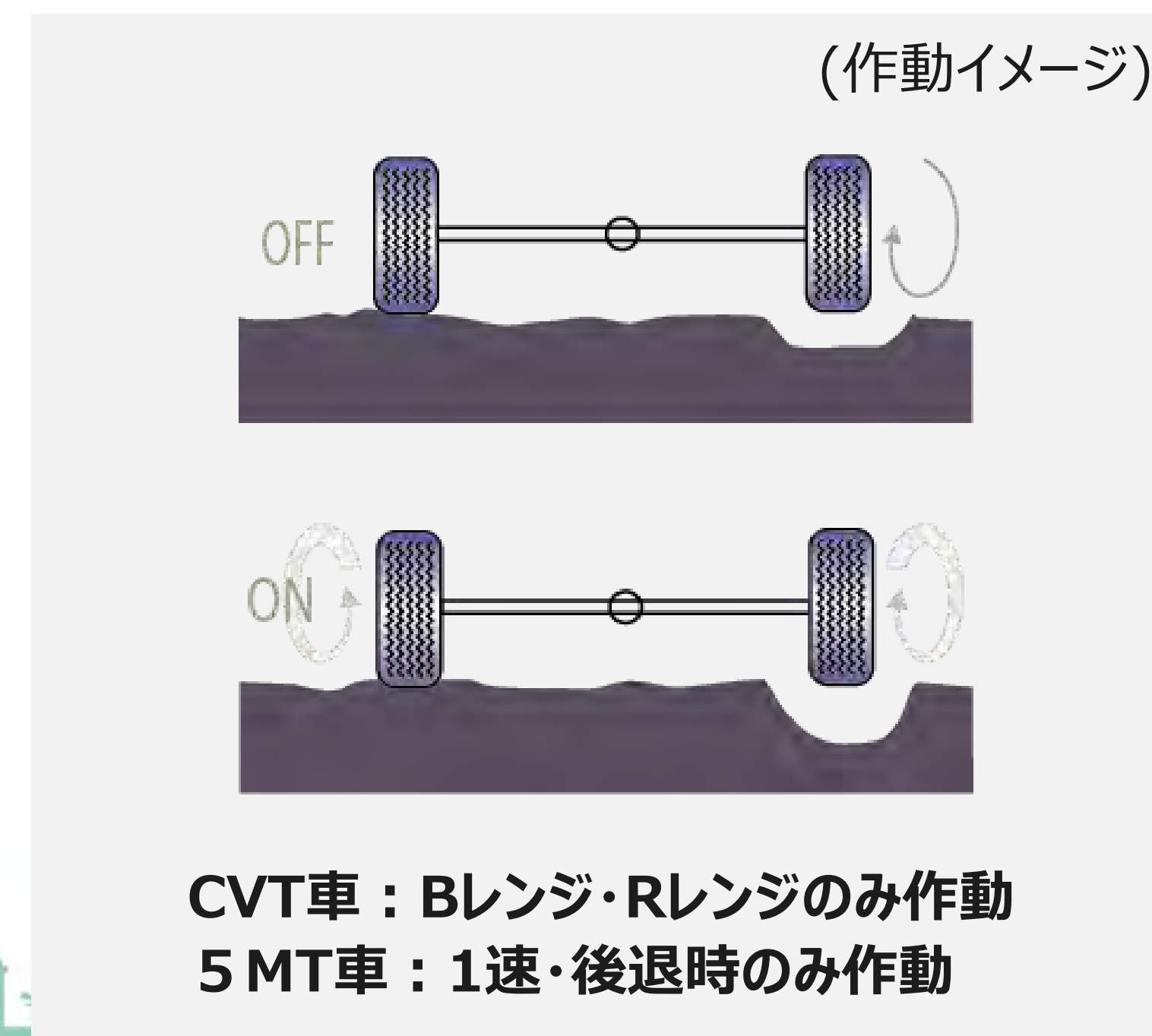
スーパーデフロック

軽キャブトラック
(CVT車) 初※2

ぬかるみ脱出も容易



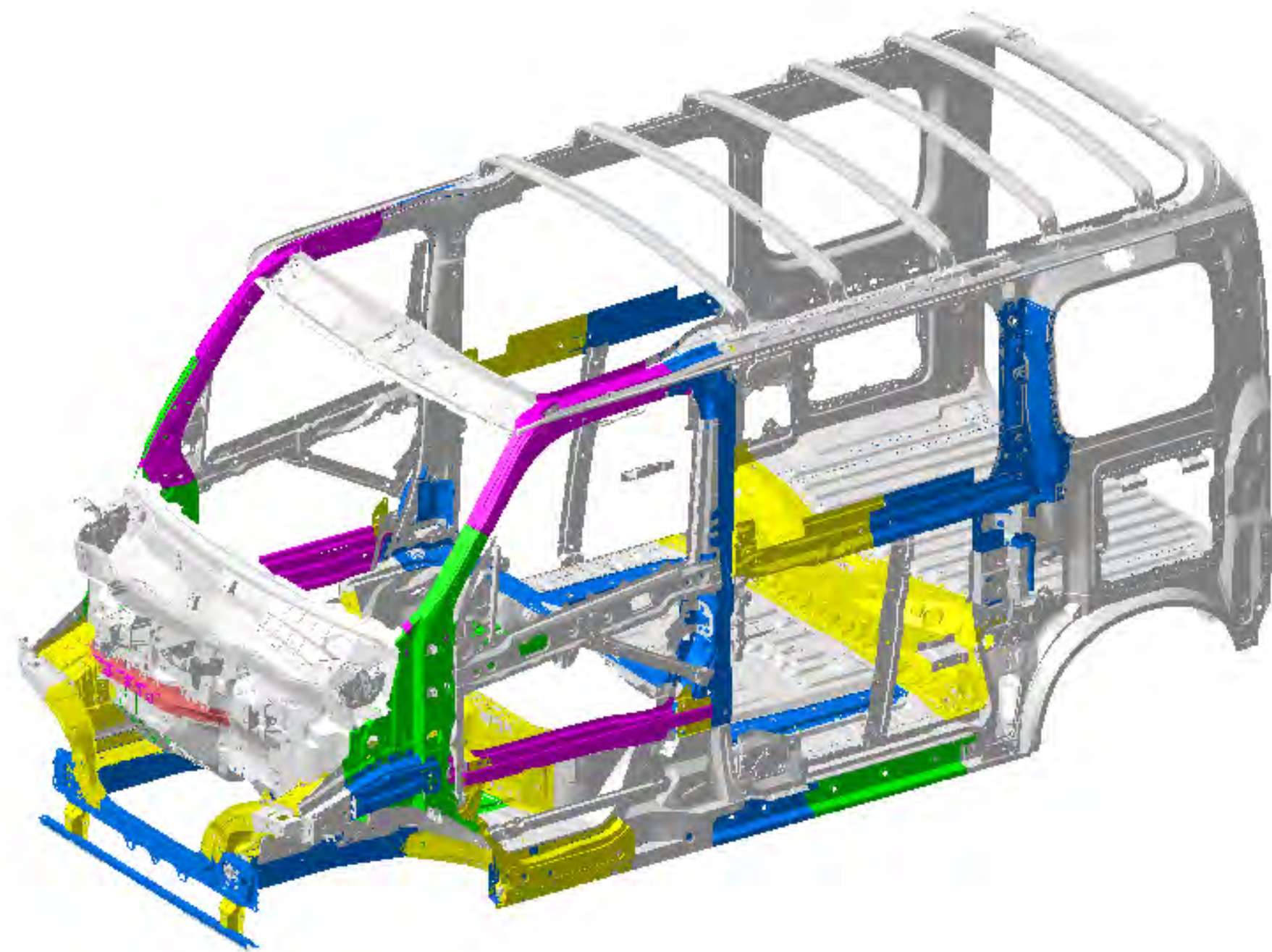
切替スイッチ



※1:軽CV、軽CTとして初。他社にも同時に初採用のクルマがあります。2021年12月現在、ダイハツ調べ
※2:2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります



**ボディ構造は軽量化や剛性向上を実現
「まっすぐ走って」「思い通りに曲がり」「乗り心地」を向上したサスペンション**



毎日使われる商用車だからこそ、運転のしやすさや疲れにくさを追求



最新のステレオカメラを使った予防安全機能「スマートアシスト」で 安全・安心性能も進化

全13※機能を搭載

衝突回避支援



衝突回避
支援ブレーキ機能
(対歩行者・車両)



衝突警報機能
(対歩行者・車両)



誤発進抑制制御機能
(前方・後方)



車線逸脱
抑制制御機能



車線逸脱警報機能



路側逸脱警報



ふらつき警報

認識支援



先行車発進
お知らせ機能



標識認識機能



オートハイビーム



ADB
(アダプティブ
ドライビングビーム)



サイドビューランプ

駐車支援



コーナースンサー
(前方・後方)



アトレーはさらに全車速追従機能付ACC・LKCを搭載

※スマートアシストの機能は車種/グレードによって異なります (一部はメーカーオプション)



衝突回避支援機能が進化し、夜間の歩行者にも対応 誤発進抑制機能（前・後方）にはブレーキ制御を追加





後方視界を確保するスマートインナーミラーを採用

クラス初※

荷物満載時



鏡面モード

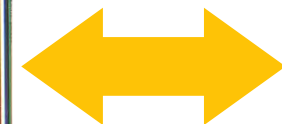


デジタルモード

夜間走行時



鏡面モード（夜間）



デジタルモード（夜間）



スマートインナーミラー
カメラ部



バックカメラとも連動

※軽CV、軽CTとして初。他社にも同時に初採用の車があります。2021年12月現在、ダイハツ調べ

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

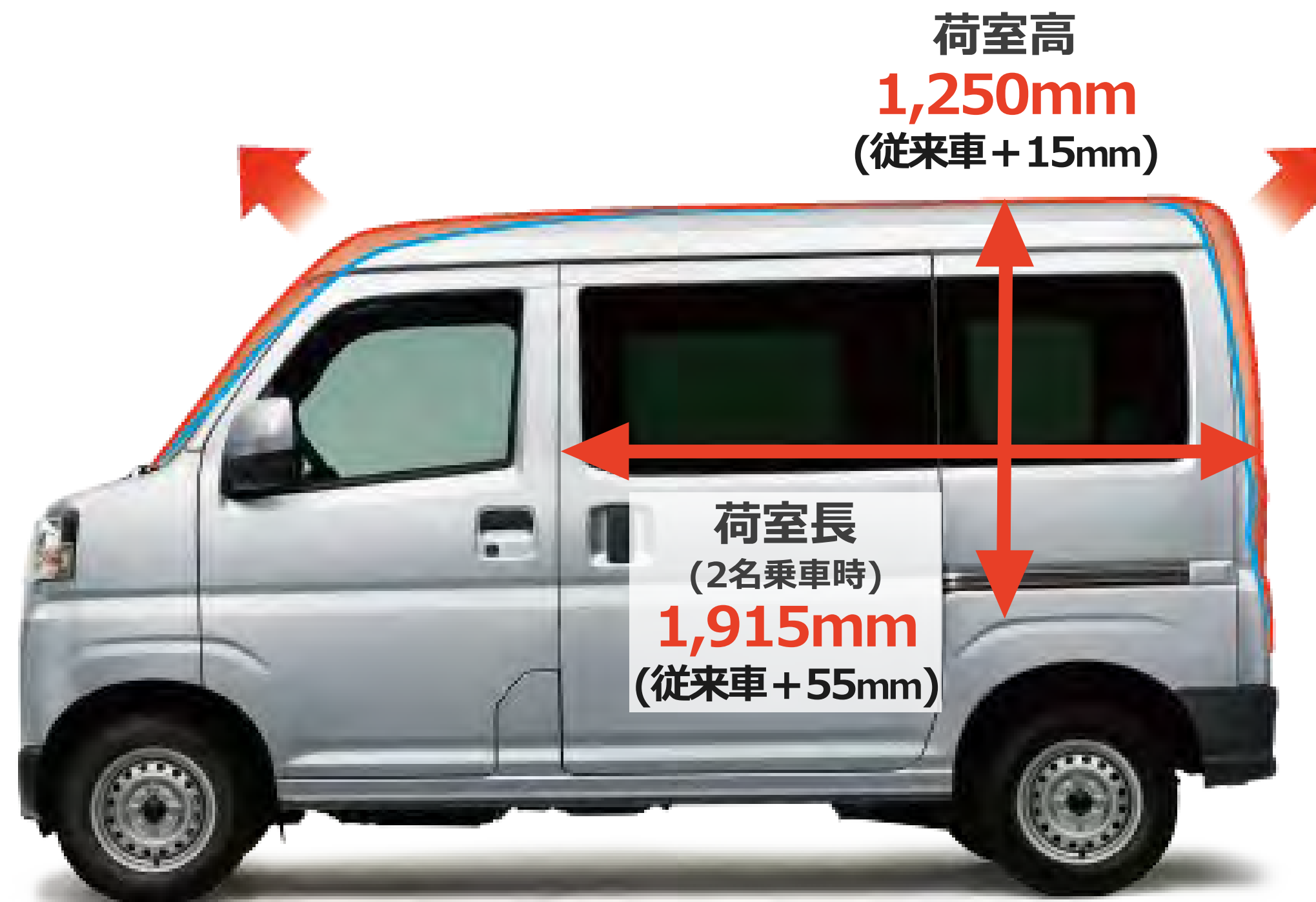
4 ハイゼットベースの特装車



車体のスクエア化により、クラス最大※の積載スペースを実現 多くの荷物を効率的に積みたいお客様のニーズにお応え



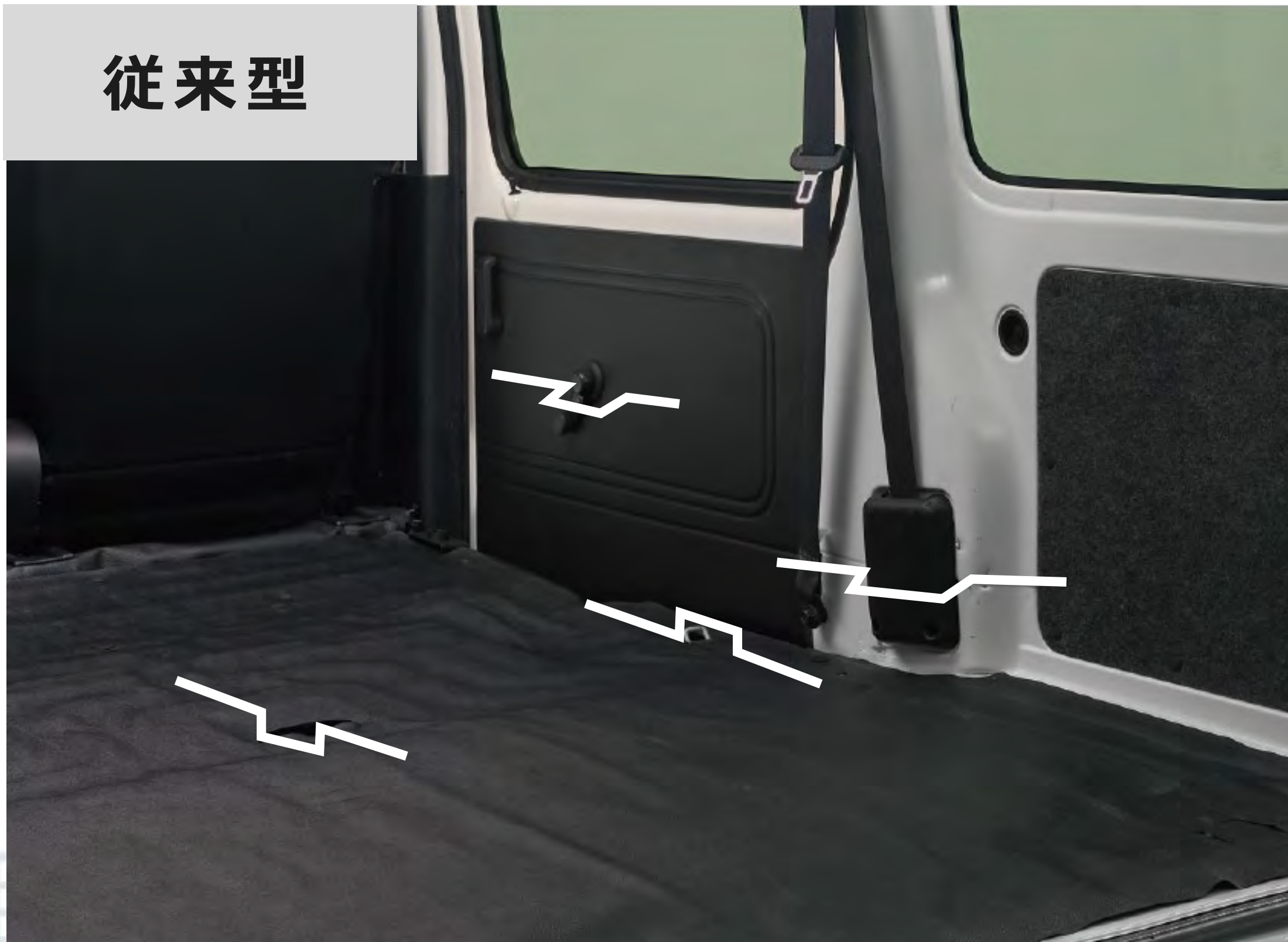
一回で荷物を
全て積みたい
(配送業)



※軽CVとして、荷室長/荷室幅（4名乗車時）/荷室高で最大。
2021年12月現在、ダイハツ調べ（社内測定値）。他社にも同数値の車があります

凹凸のないフラットな床面・側面により、荷物を積みやすく、傷つけにくい構造へ

従来型



新型



金具等の凹凸がなくなりフラットに

多様なお客様の使用用途に対応し、アレンジしやすい荷室を実現



棚を作るなど
道具を整理したい
(建設業)



荷室ナット数を2倍に増加



荷室上部



デッキサイド



● 全グレード共通
● デラックス/スペシャルのみ

お客様の生の声を反映した収納スペースや、力の弱い方にも使いやすい快適装備を採用



書類などを整理整頓したい

収納スペース



簡単にドアを開け閉めしたい

快適装備

■ パワースライドドア※1

クラス初※2



■ キーフリーシステム & プッシュボタンスタート※1

クラス初※2



※1:標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

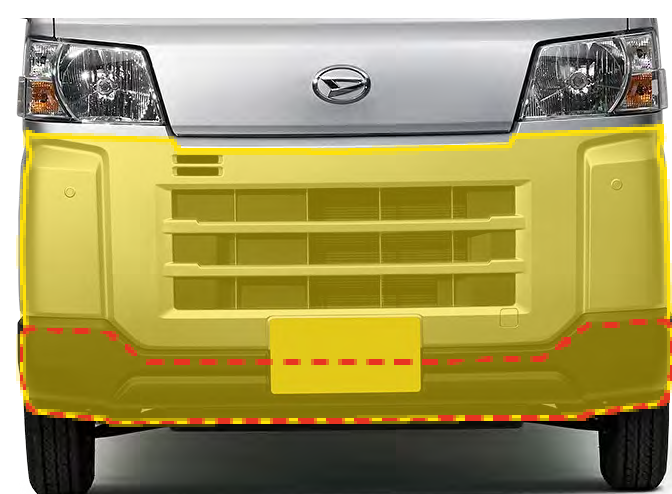
※2:軽CVとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

シンプルで力強い内外装デザインと全7色の豊富なカラーバリエーション

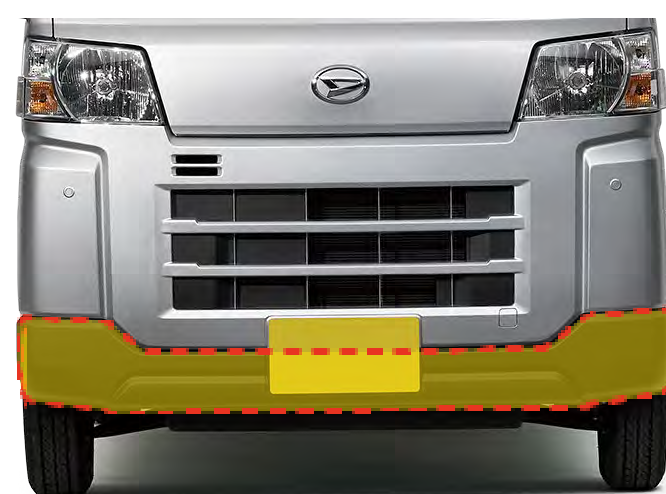
傷が付いていると印象が悪いので
気軽に修理したい（小売業/運輸業）



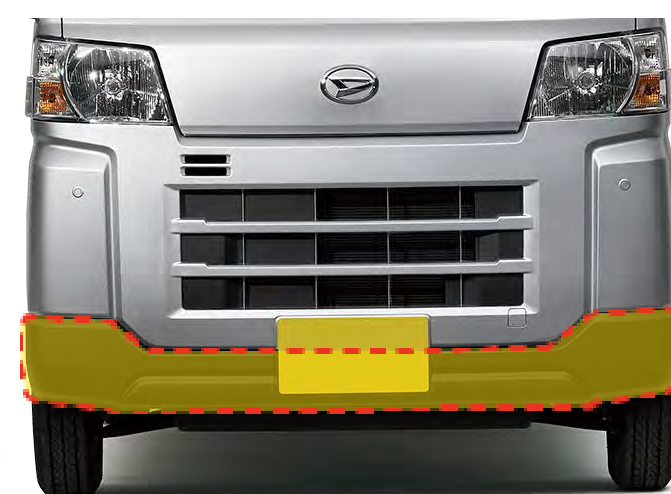
上下2分割で交換可能な経済的なバンパー



スペシャルクリーン
/スペシャル(材着)



デラックス(材着)



クルーズターボ/クルーズ
(ボディ同色)

※グレードによって仕様が異なります



ブライトシルバーメタリック
<S28>



ホワイト
<W19>



アイスグリーン
<G62>※



トニコオレンジメタリック
<R71>※



シャイニングホワイトパール
<W25>※



ブラックマイカメタリック
<X07>※



オフビートカーキメタリック
<G55>※

※メーカーオプション。オフビートカーキメタリックはデッキバンGのみに設定

建設業等のお客様に好評なダイハツ独自商品※のデッキバン 広々空間で使い勝手の良いフレンドシップシリーズ（福祉車両）

ハイゼット デッキバン



汚れた荷物やかさ張るものも積載可能

ハイゼット スローパー



車いすの足元スペースも広々
低床フロアで乗降しやすい

※オープンデッキの4人乗り軽自動車として。2021年12月現在、ダイハツ調べ

ハイゼット カーゴ



※写真はデラックス

1,045,000～1,606,000円

ハイゼット デッキバン



※写真はデッキバンG

1,320,000～1,705,000円

ハイゼットスローパー



1,685,000～1,825,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）
※ハイゼットスローパーは消費税非課税

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

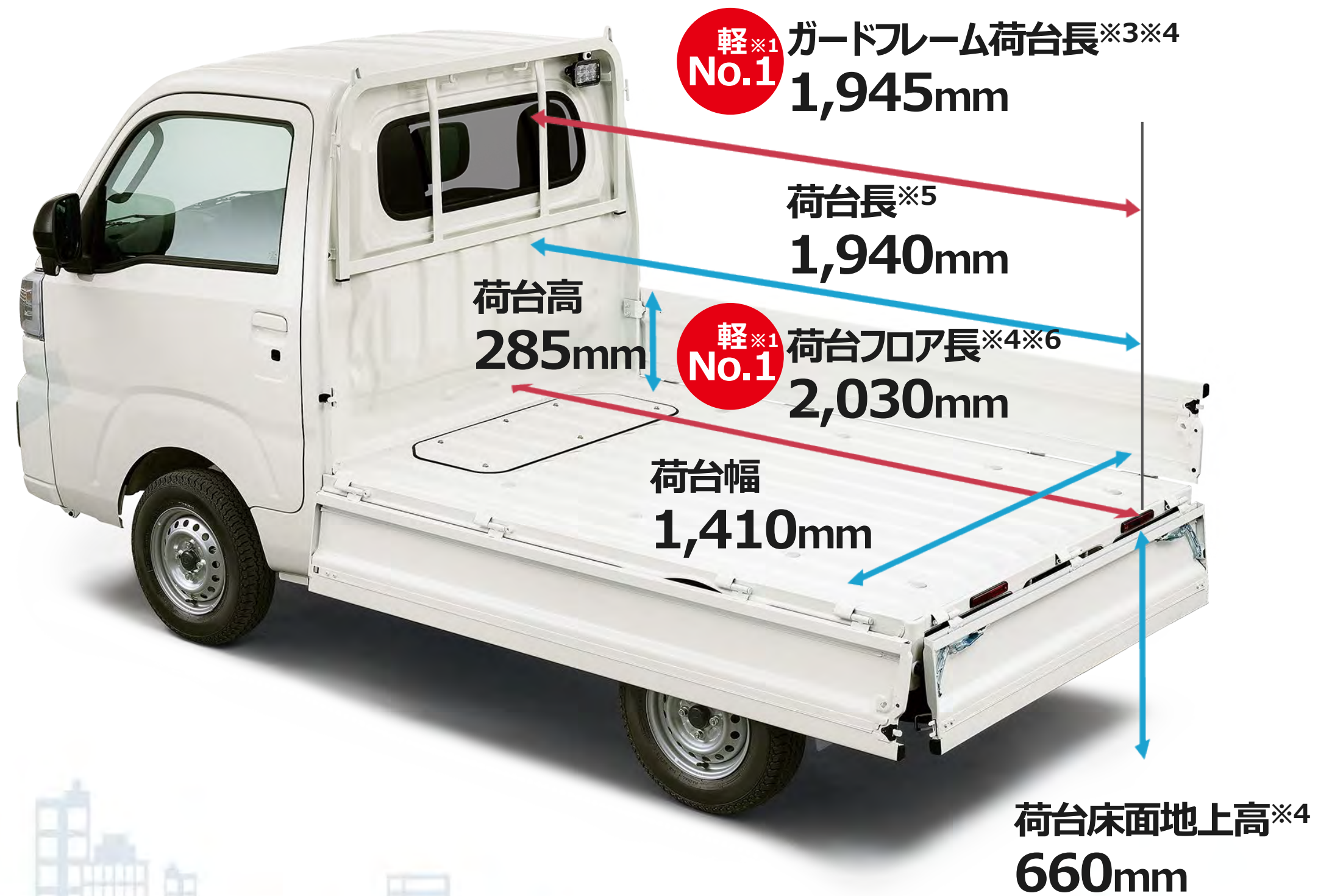
2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



軽トラックNo.1※¹の荷台フロア長、LED大型荷台作業灯※²を採用



夜間でも安全に荷物を積みたい

クラス初^{※7}



※1:2021年12月現在。軽CTとしてNo.1。ダイハツ調べ。他社にも同数値の車があります

※2:標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※3:ガードフレームからテールゲートまでの荷台の長さ。ジャンボは1,670mm

※4:社内測定値 ※5:ジャンボは1,650mm ※6:ジャンボは1,990mm ※7:軽CTとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ

お客様の声を反映した豊富な収納スペースや、使い勝手の良い快適装備を採用



日常使いする際、狭い駐車場では
ドアミラーを畳みたい

室内空間収納スペース



汚れた手でもドアを簡単に
開け閉めしたい

快適装備

電動格納式
カラードドアミラー※1

クラス初※2



キーフリーシステム &
プッシュボタンスタート※1

クラス初※2



※1: 標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※2: 軽CTとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

シンプルで力強いデザインと全7色の豊富なカラーバリエーション



ホワイト
<W19>



ブライツシルバーメタリック
<S28>



オフビートカーキメタリック
<G55>※



アイスグリーン
<G62>※



トニコオレンジメタリック
<R71>※



ファイヤークオーツレッドメタリック
<R67>※



ブラックマイカメタリック
<X07>※

※メーカーオプション。ファイヤークオーツレッドメタリックはジャンボ エクストラのみに設定

ゆとりある室内スペースが好評のハイゼット ジャンボ ハイゼットトラック販売の約20%を占めるまで成長



広い車内で快適に運転したい

新設定のスタンダードグレード



荷物置き等に最適なスペース



※社内測定値

ハイゼット トラック



※写真はエクストラ



※写真はジャンボ エクストラ

902,000～ 1,452,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

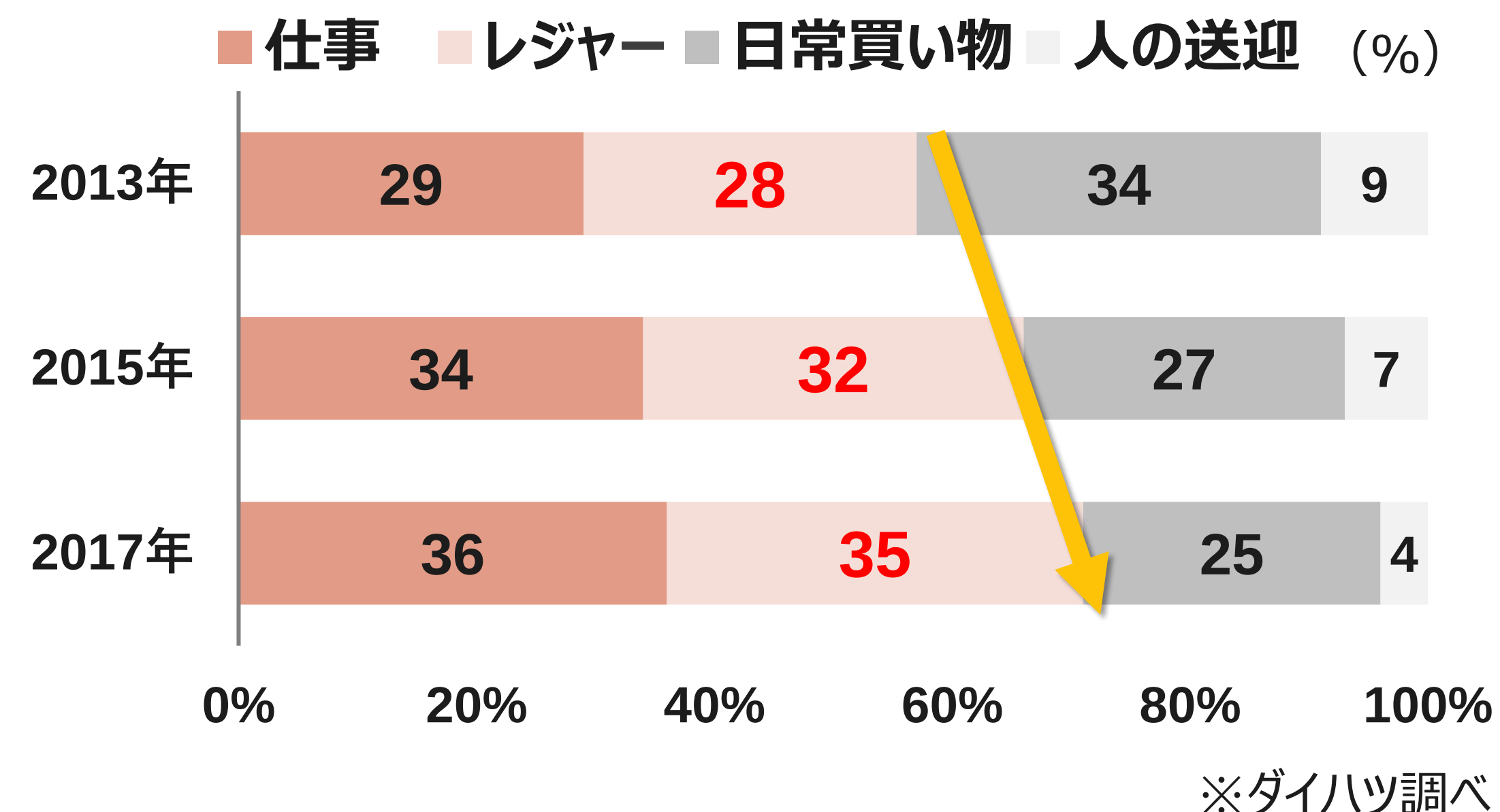
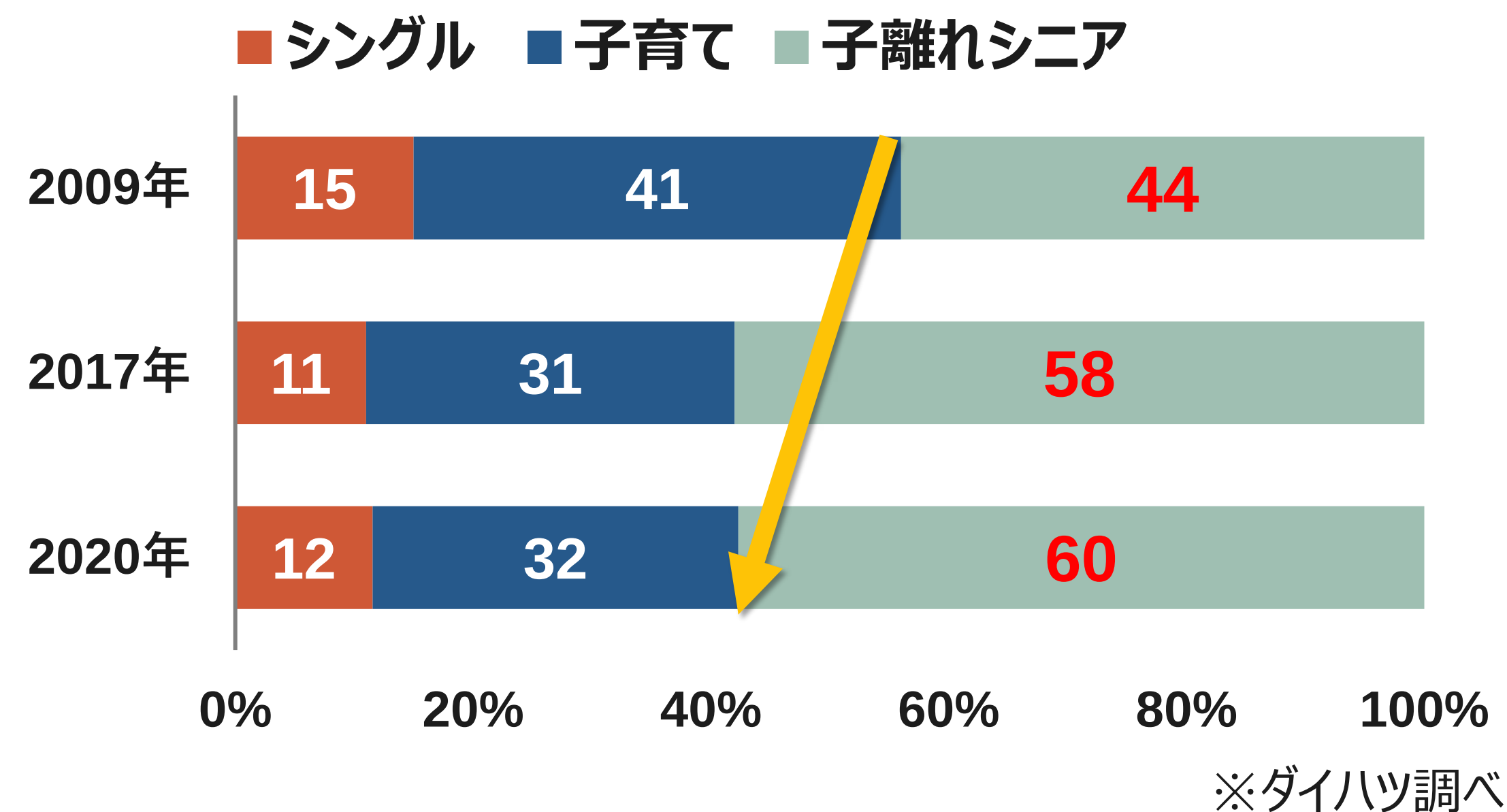
3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



子離れシニアユーザーが増えると同時に、レジャー用途も増加

軽キャブワゴン・軽乗用バン ライフステージ推移/軽キャブワゴン用途の変化



キャブオーバーのパッケージングを最大限生かし
レジャーを中心とした新しいニーズに対応

レジャー等の新しいニーズに対応するため、 広い居住・荷室空間と、最大350kgの積載量を実現

荷室幅（4名乗車）
1,410mm※1※3

ラゲージルーム容量
1,275L※1※2

荷室高
1,215mm※1※3

荷室長
1,820mm※1※3

バックドア開口幅
1,310mm※1※3

レジャー用品などの
重い荷物も積載可能



※1:アトレデッキバンは異なります

※2:アトレデッキバンを除く全車の最大荷室容量。VDA方式によるダイハツ測定値

※3:社内測定値

フラットな荷室スペースと様々なシーンで活躍するアトレーならではの装備

水平格納式リヤシートを採用



荷室に机を取り付けたい



■ ポップアップ機構付リヤガラス

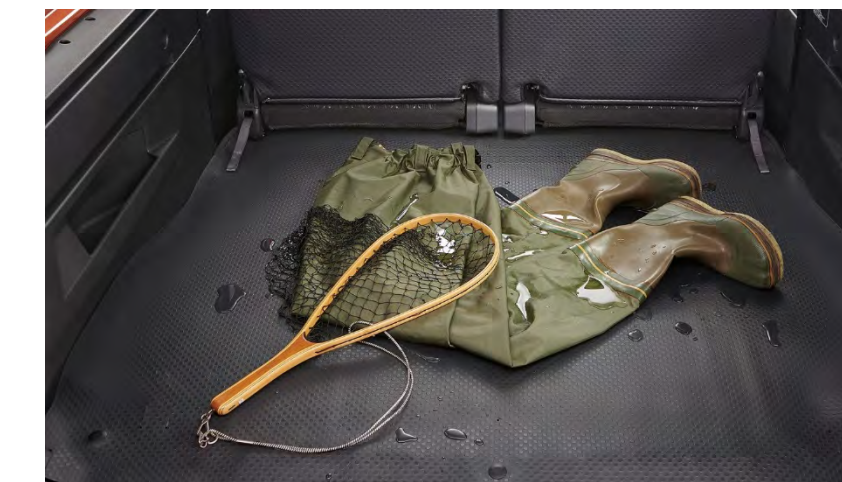


■ テーブル固定可能なデッキサイドトリム※

汚れても簡単に掃除したい



■ マルチフック



■ イージーケアマット

※RS、Xに標準装備

乗降時に便利な快適装備をクラス初※¹採用 遠出でも快適な運転負荷軽減機能を採用

快適装備



■ イージークローザー・
両側パワースライドドア※²
(ウェルカムオープン機能付)

クラス初※¹

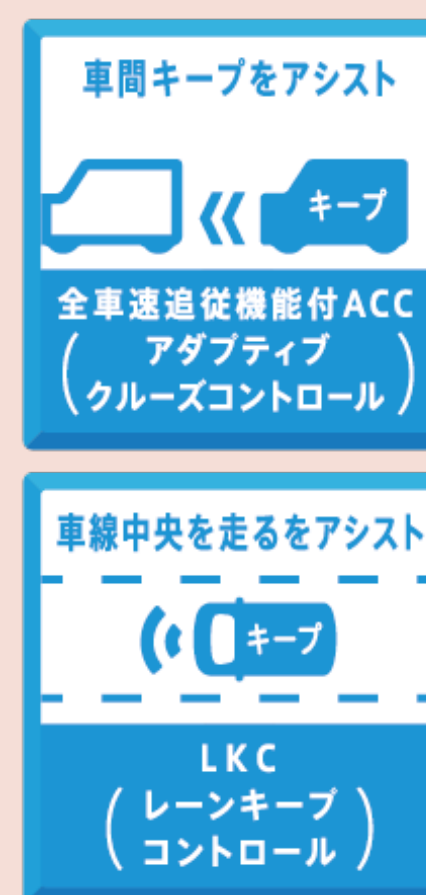
■ キーフリーシステム&プッシュボタンスタート※² クラス初※¹



予防安全機能「スマートアシスト」

「全車速追従機能付きACC」
「LKC」を採用

運転負荷軽減



※¹: 軽CV (1BOX型軽商用車) として初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

※²: RS、アトレーデッキバンに標準装備

メッキ加飾などで質感にこだわった内外装デザインと 全6色のカラーバリエーション



NEW!



トニコオレンジメタリック
<R71>



レーザーブルークリсталシャイン
<B82>※



ブライトシルバーメタリック
<S28>

NEW!



オフビートカーキメタリック
<G55>



ブラックマイカメタリック
<X07>

NEW!



シャイニングホワイトパール
<W25>※

※メーカーオプション

アトレーにもデッキバンを初設定し、多彩なバリエーションを実現

アトレー



※写真はRS

1,562,000～1,826,000円

アトレーデッキバン



1,914,000～2,068,000円

アトレスローパー



2,060,000～2,200,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）

※アトレスローパーは消費税非課税

INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





ハイゼットベースの特装車

豊富な特装車ラインナップにより、お客様のニーズにきめ細やかに対応



ダンプシリーズ

■ 多目的ダンプ



土砂
禁止

■ ローダンプ



土砂
禁止

■ 土砂ダンプ



土砂
OK

■ 清掃ダンプ



土砂
禁止



リフトシリーズ

■ 垂直式テールリフト



■ コンパクトテールリフト



保冷・冷凍シリーズ

■ カラーアルミ中温冷凍車



-5℃

■ FRP中温冷凍車



-5℃

■ カラーアルミ低温冷凍車



-20℃

■ カラーアルミ保冷車



■ FRP保冷車



配送シリーズ

■ デッキバン



■ アトレーデッキバン



■ パネルバン



■ カーゴセパレート2シーター



■ カーゴ 2シーター



■ カーゴ 2シータークリーン



全4シリーズ・13機種（17種類）の豊富なバリエーション

全ラインナップを国内工場一貫生産化し
ベース車両同様の品質で、お客様へ明確な納車時期をお伝え可能に

ベース車生産



架装部品組付



検査・保証

ベース車生産から架装組付、検査まで一貫して実施



Light
you
up

